

四、定年後の資金計画

1. 定年後の収支計画

(1) 退職時に確保すべきお金

- ① 家のリフォーム、車の購入及び耐久消費財など、一時的支出
- ② 子供や孫への援助資金
- ③ 病気や事故などに備える資金
- ④ 葬儀・墓の資金

<参考>平均的葬儀費用；約 200 万円（平成 22 年 10 月日本消費者協会調べ）。

<参考>墓石費用の平均額；約 143 万円（「いいお墓.com」平成 23 年 2 月調査）。この他に一般的には、永代使用料と管理費が必要。

これら以外の残った資金が、生活費の補てんや老後の余裕資金

(2) ライフプランとキャッシュフロー表(資料 12 頁参照)

- ① ライフイベントと共に夫婦で作成する
- ② まず、収入をおさえる
- ③ 次に支出（毎月の家計支出を把握しているか）
- ④ 独立していない子・孫も考える

2. 資金運用は目的別に

使用目的	重視する運用	運用商品
老後の生活費や病気・事故などに備える資金	流動性重視	銀行や郵便局の預貯金、証券会社の MMF など
子供への援助や老後の住宅資金	安全性重視	公社債、定期預金及び投資信託など
老後のゆとりを実現する資金	利殖性重視	株式や外貨資産などで分散投資
いざというとき家族に残す資金	安全性重視	生命保険など相続税の非課税枠が使える商品

3. さまざまな金融商品の特徴

高 ↑ 収益性 ↑ 低					株 式
				投資信託	
			外貨預金		
		普通社債			
	預貯金、国債				
低い ← リ ス ク → 高い					

4. 計画は早めに（資料14頁参照）